

2020 年度事業報告

2020 年度は、新型コロナウイルスの世界的蔓延が SDGs（Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標）の進捗に多大な影響を与える状況となり、当財団の活動においても、国内でのチャリティコンサート等のイベントや海外との往来および海外での各種イベント等の延期或いは中止を余儀なくされました。

そのような変容した社会状況の中、各種施策の見直し等により実施計画を柔軟かつ適切に修正しながら、前年同様、公益目的事業たる助成事業、表彰事業、国際協力事業、ICT 普及事業に積極的に取り組みました。また更に、コロナ禍における緊急追加施策として、助成事業ではコロナ関連案件への追加助成、国際協力事業では途上国におけるインフラ整備の拡大・拡充や KDDI スクールでの水回り環境の整備等も実施しました。

I 組織と運営状況

1. 組織

(1) 役員・評議員

役員は 10 名 [別紙 1：役員名簿]、評議員は 11 名 [別紙 2：評議員名簿] です。

(2) 審査委員

審査委員は 13 名 [別紙 3：審査委員名簿] です。

(3) 会議の開催状況

理事会を 4 回、評議員会を 1 回、審査委員会を 2 回、それぞれ開催しました。

[附属明細書 資料 1：会議の開催状況]

II 事業活動

1. 助成事業

(1) 調査研究助成

ICT が拓く豊かな未来社会をテーマとし、ICT の普及・発展、グローバル化、ICT を活用した社会的課題の解決に寄与する調査、研究（技術、産業、制度、社会、文化等）に対する『調査研究助成』は、公募による募集・審査の結果、36 件の応募がありました。従来の「社会的課題の明確さ」、「具体的な創造価値」、「新規分野の開拓」、「グローバル研究」の他、「新型コロナウイルスへの対応」の視点から審査を行うとともに、助成枠を拡大し、17 件について合計 4,591.5 万円の助成を行いました。

[附属明細書 資料 2：調査研究助成]

(2)社会的・文化的諸活動助成

ICT を通じて社会、教育、環境等の課題解決や地域社会の国際化の促進に貢献する各種の非営利団体（NPO）・非政府組織（NGO）の活動、ならびに開発途上国における教育、文化、生活支援等に関する活動に対する『社会的・文化的諸活動助成』は、公募による募集・審査の結果、15 件の応募のうち、5 件に対して合計 479.2 万円の助成を、『継続型社会的・文化的諸活動助成』は、1 件の応募に対し 200 万円の助成を行いました。

[附属明細書 資料 3：社会的・文化的諸活動助成]

[附属明細書 資料 4：継続型社会的・文化的諸活動助成]

(3)国際会議開催助成

ICT の普及・発展に寄与する国際会議に対する『国際会議開催助成』は、公募による募集の結果 11 件の応募に対し、情報通信の普及・発展への寄与度、先端性等を審査し、8 件に対して合計 400 万円の助成を行いました。

[附属明細書 資料 5：国際会議開催助成]

(4)日本人留学生助成

日本から海外に留学する者で、法律、経済、社会、文化、技術の各分野において国際的視野に立ち、社会に貢献するテーマで研究を行っている大学院生を対象とし、指定する 43 大学の推薦を通じて、10 名の候補者から 2 名を選考し、合計 960 万円の助成を行いました。

[附属明細書 資料 6：日本人留学生助成]

(5)語学留学助成

ビルマ語、モンゴル語、カンボジア語の習得を目指して、当該国に留学する日本人大学生を対象とした助成ですが、新型コロナウイルスの影響で、今年度は応募がありませんでした。

(6)外国人留学生助成

海外から日本に留学中で、国内外の情報通信の普及・発展、グローバル化に貢献する分野で研究を行う外国人大学院生を対象とした留学生助成で、指定する 43 大学の推薦による 27 名の候補者から、今年度は新型コロナウイルス禍での支援強化の観点から助成枠を拡大し、18 名（理系 14 名、文系 4 名）を選考、合計 1,800 万円の助成を行いました。

[附属明細書 資料 7：外国人留学生助成]

(7)著書出版・海外学会等参加助成

情報通信の制度・政策の研究に関する著書出版・海外学会等参加への助成について、情報通信に係る論文誌（Nextcom）の監修委員会での審査・選考の結果、著書出版助成について、2件合計400万円を助成しました。海外学会等参加助成については、新型コロナウイルスの影響で、申請がありませんでした。

[附属明細書 資料8：著書出版助成]

(8)青少年啓発・育成活動助成

1) 科学実験教室

情報通信振興の視点から、青少年の科学技術への好奇心醸成と啓発を目的として開催される「科学実験教室」への助成を実施しました。今年度は新型コロナウイルスの影響で、九州大学（8月）、北海道大学（2月、3月の計2回）、広島市立大学（3月）においてオンラインで実施されましたが、名古屋大学、東北大学では中止となりました。助成額は合計で293万円です。

2) 中高生への即興型英語ディベートの普及

全国の中高生を対象とした即興型英語ディベートの普及活動を通じて、グローバル人材育成に寄与するPDA（一般社団法人パラメンタリーディベート人材育成協会）の活動を支援しました。今年度は通常の助成に加えて、本活動の海外普及のための多言語ビデオ制作の支援も実施し、合計250万円の助成を行いました。

2. 表彰事業

公募による募集・審査の結果、『KDDI Foundation Award』は、12件の応募に対し、KDDI Foundation Awardとして2件、合計400万円、KDDI Foundaton Award 奨励賞として2件、合計100万円の贈呈を行いました。

[附属明細書 資料9：KDDI Foundation Award、KDDI Foundation Award 奨励賞]

3. 国際協力事業

(1)開発途上国の人材育成に資する技術研修の実施

途上国における情報通信（以下、「ICT」という）の改善・拡充を担う人材育成のために、国際開発援助機関（APT：アジア・太平洋電気通信共同体）の計画に基づく個別研修（「ルーラル地域でのラジオ放送を活用したPPDR（防災行政情報）セミナー」及び「サイバーセキュリティ技術－最近のリスク動向とその対策－」）をオンラインにて実施しました。2コース合計で、アジア太平洋地域の36名の研修員に対して、計24日間の研修を実施しました。

[附属明細書 資料10：海外研修業務の実施状況]

(2)国際会議への参加

ICTの先進技術・サービスの途上国における円滑な導入を支援することを目的としたITU-D（国際電気通信連合 開発部門）、APT（アジア・太平洋電気通信共同体）等の主催する国際会議にオンライン出席し、財団実施の共同プロジェクトの実施結果、日本での最新通信技術・サービス動向や途上国に適した通信技術の提案・紹介を行いました。

(3)開発途上国におけるデジタルデバイド解消プロジェクトの実施

開発途上国の経済発展の阻害要因となっている「デジタルデバイド」解消に貢献するため、新型コロナウイルスの影響により、相手国や日本での会議等往来が制限されたものの、オンライン会合やリモート参加による現地調査等を通じて国際機関、関係国政府機関、関連組織/団体と連携してICTの普及・拡大のための人材育成やプロジェクトを実施しました。

APTの開発援助プログラムの枠組みにおいては、「モンゴルの極寒など厳しい自然環境下の過疎地への廉価な光ファイバーアクセス網のパイロット構築」、「ネパールのスマートネットワーク技術を活用した地方行政特化サービスの展開強化」並びに「ベトナムの洪水後の道路状況把握のため、GPSやデジタルマップ等の画像処理技術を活用したUAV（Unmanned Aerial Vehicle）システムの研究」を推進するとともに、各プロジェクトについて、敷設区間拡張用の光ファイバーの追加調達（モンゴル）、X線撮影装置や健診キット等の追加調達（ネパール）、UAV用機能追加パーツや開発用キットの追加調達（ベトナム）を行う追加プロジェクトを実施しました。これに続くプロジェクトとして、「モンゴルのルーラルエリアにてFM放送やEWBSを使った防災行政情報(PPDR)の広報についての調査研究」、及び「ベトナムでのCOVID19症状チェックやオンライン調査を実施するためのチャットボットを利用したEサービスプラットフォームの調査研究」に着手しました。

なお、今年度の自主プロジェクトとして、ミャンマーでの「大学生向けアプリケーションコンテスト」、「APNIC財団共催のサイバーセキュリティ技術研修」、「大学教育用ネットワーク拡張」については中止としました。更に、昨年度中止した「ミャンマー大学生向けアプリケーションコンテスト」については、9月にオンライン開催予定で準備を進めましたが、現地側での新型コロナウイルスの更なる感染拡大のため、教育省の指示に基づいて開催中止としました。

[附属明細書 資料 11：開発途上国におけるプロジェクトの実施状況]

(4)チャリティコンサート開催とカンボジア、ミャンマー、ネパールにおける教育文化支援の実施

昨年度のチャリティコンサート中止に続き、「チャリティコンサート クラシック 2021」も新型コロナウイルスの感染拡大防止への配慮から中止としました。

財団活動のひとつの柱である「国際協力・途上国教育文化支援」として、カンボジアではNGO World Assistance for Cambodiaの協力の下、13校目のKDDIスクールを建設しました。新型コロナウイルスの影響により断続的に休校が続いていますが、全13校を対象としてヒヤリングを実施し、水回り環境の整備、PC/図書を追加を行うとともに、布マスク、

消毒液、体温計等の衛生用品の配布を行いました。また、伝統芸能スバエクトム影絵芝居（Ty Chean 一座）については、影絵人形制作支援の他、練習場兼劇場の環境整備等を実施しました。

ミャンマーでは新型コロナウイルスや政変による影響のため、断続的に休校が続いていますが、NGO New Zero の協力の下、開校が可能となった夏の一時期には、ビレッジスクールで、少人数の美術や PC の授業を行いました。

ネパールでは、新型コロナウイルスによる小中学校の閉鎖を受け、ネパールでのプログラミング教育は中断しました。インターネット環境のない家庭が多い状況に鑑み、新型コロナウイルスの影響による学校閉鎖下でも家庭での学習が継続できるよう、ラリトプール市・学校・教育 NGO と協力して、学習コンテンツを保存したタブレットと教科書を併用する学習計画を策定し、その活用を3月から6校/タブレット端末 200 台にて開始しました。更に、教育 NGO と連携の上、視聴覚障害のある児童生徒が利用できる e ラーニング教材を制作し、特別学校 3 校/PC 35 台への同教材の導入することにしました。この取り組みは KDDI 財団とユニセフが分担して支援しています。

[附属明細書 資料 12：開発途上国における教育文化支援実施状況]

(5) N P O 支援

国際協力活動を幅広く展開する NPO の活動支援を目的に通信インフラ（サーバホスティングサービスなど）運用の資金を継続実施しました。2020 年度は、1 団体への支援を実施しました。支援先とその内容は以下のとおりです。

- ① ジャパン・プラットフォーム(WEB および DNS の運用支援)

4. ICT 普及事業

(1)「MCPC モバイルシステム/IoT システム技術検定試験対策講習会」の実施

2020年度の「MCPCモバイルシステム技術検定試験対策講習会」に並びに「IoTシステム技術検定試験対策講習会」は、春季講習会は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となり、秋季は感染防止対策を講じた上で、会場およびオンラインを併用して開催しました。また、個別企業向けにもオンラインでの講習会を開催しました。

[附属明細書 資料 13：MCPC モバイルシステム/IoT システム技術検定試験対策講習会の実施状況]

(2)国際コミュニケーション・フォーラムの開催

公益財産法人情報通信学会との共催により、2020 年度春季（7 月）及び秋季（12 月）国際コミュニケーション・フォーラムを実施し、新型コロナウイルス環境下での ICT 利活用の在り方、デジタル変革の今後について、活発な議論が行われました。

(3)機関誌の発行

2020年版財団機関誌（KDDI FOUNDATION Vol.12）を2,000部発行し、大学等の教育機関、研究機関、財団関係者、最近の助成対象者などを中心に配布しました。

(4)「衛星通信年報」の発行

昨年度に引き続き、衛星通信・衛星放送分野の関係機関、民間会社からの寄付金が得られたことから、我が国の政策、事業活動、国際機関の活動等、国内外の動きをまとめた令和2年版の衛星通信年報を発刊いたしました。

5. 収益事業

「IPSTAR 衛星の日本における電波免許取得」に関する民間会社からの案件を1件実施いたしました。

本案件が次年度へ継続となりました。

[附属明細書 資料 14：国内コンサルティング業務の実施状況]

以 上

役員名簿

(敬称略・理事は五十音順、◎印は常勤)

(2021年3月31日現在)

財団役職	氏名	所属・職位
理事長	鈴木 正敏	株式会社 KDDI 総合研究所 主席研究員
専務理事◎	真鍋 洋文	
理事	明田 健司	KDDI 株式会社 経営戦略本部経営企画部長
理事	江崎 浩	東京大学大学院情報理工学系研究科 教授
理事	大橋 弘	東京大学公共政策大学院 院長
理事	関根 千佳	株式会社ユーディット 会長兼シニアフェロー 同志社大学 客員教授
理事	長谷山 美紀	北海道大学 副学長
理事	山内 弘隆	一橋大学大学院経営管理研究科 特任教授
理事	脇濱 紀子	京都産業大学現代社会学部 教授
監事	松永 幸廣	PwC 京都監査法人 マネージング・パートナー 公認会計士

評 議 員 名 簿

(敬称略・五十音順)

(2021年3月31日現在)

氏 名	所 属 ・ 職 位
内海 善雄	元国際電気通信連合 事務総局長
角川 歴彦	株式会社KADOKAWA 取締役会長
金子 郁容	慶應義塾大学 名誉教授
姜 尚中	東京大学 名誉教授、熊本県立劇場 理事長兼館長、鎮西学院 学院長
菅谷 実	慶應義塾大学 名誉教授
田中 孝司	KDDI 株式会社 代表取締役会長
児野 昭彦	日本放送協会 専務理事・技師長
辻 正次	神戸国際大学 学長、大阪大学 名誉教授 兵庫県立大学 名誉教授・特任教授、星槎大学 客員教授
土井 美和子	国立研究開発法人情報通信研究機構 監事 奈良先端科学技術大学院大学 理事、東北大学 理事
日比野 隆司	株式会社大和証券グループ本社 取締役会長兼執行役 大和証券株式会社 代表取締役会長
保坂 雅樹	西村あさひ法律事務所 執行パートナー 弁護士

審査委員名簿
(敬称略・委員は五十音順)

(2021年3月31日現在)

氏名	所属・職位	専門分野
委員長 森川 博之	東京大学大学院工学系研究科 教授	IT・ITネットワーク
委員 加藤 寧	東北大学大学院情報科学研究科 教授	情報通信技術論
後藤 玲子	茨城大学人文社会科学部法律経済学科 教授	経済政策論・政策評価
眞田 幸俊	慶應義塾大学理工学部電子工学科 教授	ブロードバンド無線システム
穴戸 常寿	東京大学大学院法学政治学研究科 教授	情報法
関口 博正	神奈川大学経営学部 教授	規制産業の会計学
高田 潤一	東京工業大学環境・社会理工学院 教授	電波伝搬・電波応用計測
釣谷 剛宏	株式会社 KDDI 総合研究所 執行役員	
戸川 望	早稲田大学大学院基幹理工学研究科 教授	SoC 設計技術
中小路 久美代	公立はこだて未来大学システム情報科学部 情報アーキテクチャ学科 教授	インタラクティブデザイン
林 秀弥	名古屋大学大学院法学研究科 教授 同アジア共創教育研究機構 教授	経済法
村上 陽亮	株式会社 KDDI 総合研究所 執行役員	
湧口 清隆	相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科 教授	情報通信の経済政策

2020 年度事業報告の附属明細書

I 組織と運営状況

1. 組織

資料 1 会議の開催状況

II 事業活動

1. 助成事業

資料 2 調査研究助成

資料 3 社会的・文化的諸活動助成

資料 4 継続型社会的・文化的諸活動助成

資料 5 国際会議開催助成

資料 6 日本人留学生助成

資料 7 外国人留学生助成

資料 8 著書出版助成

2. 表彰事業

資料 9 KDDI Foundation Award、KDDI Foundation Award 奨励賞

3. 国際協力事業

資料 10 海外研修業務の実施状況

資料 11 開発途上国におけるプロジェクトの実施状況

資料 12 開発途上国における教育文化支援実施状況

4. ICT 普及事業

資料 13 MCPC モバイルシステム/IoT システム技術検定試験対策講習会
の実施状況

5. 収益事業

資料 14 国内コンサルティング業務の実施状況

会議の開催状況

1. 理事会

回数	開催年月日	議案・報告事項
第 34 回	2020 年 5 月 22 日	(議案) 1. 2019 年度事業報告 2. 2019 年度決算報告 3. 第 17 回評議員会の招集および提出議題 (報告) 1. 職務執行状況の報告
第 35 回	2020 年 6 月 8 日	(議案) 1. 理事長及び専務理事の選定 2. 審査委員の委嘱
第 36 回	2020 年 10 月 23 日	(議案) 1. 2020 年度修正事業計画(案) (報告) 1. 職務執行状況の報告
第 37 回	2021 年 3 月 19 日	(議案) 1. 2021 年度事業計画(案) 2. 2021 年度収支予算(案) 3. 2021 年度助成、 2020 年度 KDDI Foundation Award の 対象および対象者(案) 4. 審査委員の委嘱(案) (報告) 1. 職務執行状況の報告

2. 評議員会

回数	開催年月日	議案・報告事項
第 17 回	2020 年 6 月 8 日	(議案) 1. 2019 年度決算報告 2. 評議員の選任 3. 役員の選任 (報告) 1. 2019 年度事業報告 2. 2020 年度事業計画及び収支予算 3. 審査委員の委嘱 4. 職務執行状況の報告

3. 審査委員会

開催年月日	議題・報告事項
2020年9月1日	(議題) 1. 2020年度KDDI Foundation Award 選考 2. 助成プログラム審査説明
2020年12月22日	(議題) 1. 2021年度助成プログラム審査 2. KDDI Foundation Award 改定

調査研究助成

研究者	研究テーマ	研究期間	助成額 (千円)
石垣 陽 いしがき よう 電気通信大学 大学院情報理工学研究科・情報 学専攻 特任准教授	小型CO2センサ群による 密閉密集の可視化	2021年4月1日～ 2023年3月31日 (2年)	3,000
鶴木 祐史 うのき まさし 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科・情報科学 系 教授	ディープフェイク音声の自 動判別法	2021年4月1日～ 2023年3月31日 (2年)	3,000
岡 育生 おか いくお 大阪市立大学 大学院工学研究科・電子情報系 専攻 教授	景色を聴くための心地よ い可聴域変調の開発	2021年4月1日～ 2024年3月31日 (3年)	3,000
河村 和徳 かわむら かずのり 東北大学 大学院情報科学研究科人間社会 情報科学専攻 准教授	ICTを活用した危機に強 い地方議会の構築	2021年4月1日～ 2023年3月31日 (2年)	3,000
木村 睦 きむら むつみ 龍谷大学 先端理工学部・電子情報通信課 程 教授	キャパシタ素子での小型 低電力脳型システム	2021年4月1日～ 2023年3月31日 (2年)	3,000
NGUYEN XUAN TIEN グエン スアン ティエン 事業創造大学院大学 事業創造研究科事業創造専攻 大学院修士1年	ウィズコロナ時代の顧客ロ イヤリティ戦略	2021年4月1日～ 2022年3月31日 (1年)	1,000
曹 洋 そう よう 京都大学 大学院情報学研究科社会情報学 専攻 特定助教	感染症動向調査のため の位置プライバシー保護	2021年4月1日～ 2023年3月31日 (2年)	3,000

田邊 亜澄 たなべ あずみ 東北大学 加齢医学研究所 人間脳科学研究分野 助教	学習容易な ICT 画面の 認知科学的評価開発	2021年4月1日～ 2024年3月31日 (3年)	3,000
中島 功 なかじま いさお 星槎大学 共生科学部・中島研究室 特任教授	コロナ接触アプリの経済 的負荷と質の向上	2021年4月1日～ 2022年9月30日 (1年6ヵ月)	1,915
永島 優 ながしま まさる 早稲田大学 高等研究所 講師	e ラーニング・モバイル送 金とマラリア撲滅	2021年4月1日～ 2024年3月31日 (3年)	3,000
久野 大介 ひさの だいすけ 大阪大学 大学院工学研究科 電気電子情報通信工学専攻 助教	光固有値伝送における 低演算量固有値抽出法	2021年4月1日～ 2023年3月31日 (2年)	3,000
華 金玲 はな きんれい 慶應義塾大学 総合政策学部 非常勤講師	ユニバーサル・アクセス制 度の国際比較研究	2021年4月1日～ 2024年3月31日 (3年)	3,000
船田 哲 ふなだ さとし 京都大学 大学院医学研究科 博士課程	Web アプリによる過活動 膀胱予測モデルの構築	2021年4月1日～ 2022年3月31日 (1年)	1,000
芳原 容英 ほうばら やすひで 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻 教授	ICT 技術を用いた極端 気象の監視と予測	2021年4月1日～ 2023年3月31日 (2年)	3,000
関口 真有 せきぐち まゆ 北海道医療大学 心理科学部臨床心理学科 助教	ICT を活用した心理支 援の多角的な利用方法	2021年4月1日～ 2024年3月31日 (3年)	3,000
松田 裕貴 まつだ ゆうき 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 助教	珠算行動の認識による 学習者支援システム	2021年4月1日～ 2023年9月30日 (2年6ヵ月)	3,000

ヨコバ四位エレオノラ ヨコバシイエレオノラ 富山大学 教養教育院 教授	海外日本語教材の調査 とデータベースの構築	2021年4月1日～ 2024年3月31日 (3年)	3,000
合計		17件	45,915

資料 3

社会的・文化的諸活動助成

団体名	活動名称	活動時期 活動場所	助成額 (千円)
一般財団法人 カンボジア子ども基金きぼう	プロジェクターを用いたカンボジア農村地域の視聴覚教育普及事業	2021年4月1日～ 2022年3月31日 カンボジア：コンポンチュナム、プレイベン、タケオの各州	1,000
NPO 法人 アグリコミュニティ千歳	震災とコロナ禍での希少果実栽培の持続をめざす地域発の協働活動及びスマート農園開発	2021年4月1日～ 2022年6月30日 千歳市・安平町・厚真町	1,000
多言語絵本の会 RAINBOW	多言語電子絵本を全国の公共図書館に寄贈し、図書館の多文化サービスに寄与する	2021年4月1日～ 2021年10月31日 東京都目黒区	800
NOM POPOK	カンボジアの小学生のための、ICT と健康的なお菓子を使った栄養教育の実施	2021年4月1日～ 2022年3月31日 カンボジア：プノンペン、カンダール州	992
Creative Junction	ミャンマー漫画を復権！作家に学びと出版の機会を!! コンペ優秀作を制作	2021年4月1日～ 2022年6月30日 ミャンマー・ヤンゴン	1,000
合計		5件	4,792

継続型社会的・文化的諸活動助成

団体名	活動名称	活動時期 活動場所	助成額 (千円)
NPO 法人 ファクトチェック・イニシアティブ (略称 F I J)	「ファクトチェック・ナビ」の改良・利用拡大によるファクトチェック情報の流通促進	2021 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日 東京	2,000
合計		1 件	2,000

国際会議開催助成

申請団体	主催団体名	会議の名称	助成額 (千円)
微小光学研究会	公益社団法人 応用物理学会 (微小光学研究会)	The 26th Microoptics Conference/第 26 回微小光学国際会議	500
第 24 回 2 次元電子系国際会議 / 第 20 回半導体超構造国際会議 合同組織委員会	第 24 回 2 次元電子系国際会議 / 第 20 回半導体超構造国際会議 合同組織委員会	EP2DS24/MSS20 合同国際会議 24th International Conference on Electronic Properties of Two-Dimensional Systems 20th International Conference on Modulated Semiconductor Structures	500
Asia CCS 2022 実行委員会	Association for Computing Machinery's Special Interest Group on Security, Audit, and Control (ACM SIGSAC)	第 17 回 ACM コンピュータと通信のセキュリティに関するアジア地区国際会議 The 17th ACM ASIA Conference on Computer and Communications Security (AsiaCCS2022)"	500
情報理論ワークショップ実行委員会	IEEE Information Theory Society	2021 年 IEEE 情報理論ワークショップ The 2021 IEEE Information Theory Workshop	500

2021 年国際固体素子・材料コンファレンス 組織委員会	公益社団法人 応用物理学会	2021 年国際固体素子・材料コンファレンス 2021 International Conference on Solid State Devices and Materials (略称 : SSDM2021)	500
IV21 組織委員会	IV21 組織委員会 IEEE Intelligent Transportation Systems Society	第 32 回 IEEE インテリジェントビークル国際シンポジウム The 32nd IEEE Intelligent Vehicles Symposium (IV21)	500
AM-FPD 組織委員会	一般社団法人 機能性薄膜材料デバイス国際会議 (共催 公益社団法人 応用物理学会)	第 28 回アクティブマトリクスフラットパネルディスプレイ国際会議 / The 28th International Workshop on Active-Matrix Flatpanel Displyas and Devices - TFT Technologies and FPD Materials -	500
ISAAC2021 組織委員会	ISAAC2021 組織委員会	アルゴリズムと計算に関する第 32 回国際シンポジウム	500
合計		8 件	4,000

資料 6

日本人留学生助成

助成対象者	研究テーマ	留学国 (予定)	助成額 (千円)
澤井 雪乃 さわい ゆきの 筑波大学大学院 人文社会科学部 国際日本研究専攻 修士 2 年	吃音臨床家が用いるコミュニケーション方略	オーストラリア	4,800
小橋 慶太 こばし けいた 東北大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻 博士 1 年	自律化した小惑星探査ロボットの目的地到達	アメリカ	4,800
合計		2 件	9,600

外国人留学生助成

助成対象者	研究テーマ	国籍	助成月数	年間助成額(千円)
Abdelrahman Maher Abdelkader Harras アブデルラフマン マヘル アブデルカ ーディル ハラス 徳島大学大学院 先端技術科学教育部 博士 2年	Enhancing Image Based Detection and Tracking Systems by Using a Wireless Sensor	エジプト	6	600
Truong Thanh Nghia トルン タン ギア 東京農工大学大学院 工学府 情報工学専攻 博士 1年	深層神経ネットワークによる 手書き数式認識とその E- learning への応用	ベトナム	12	1,200
Nwadiuto Jude Chibuike ワディウト ジュード チブイチ 名古屋大学大学院 工学研究科 博士 2年	Modeling of Real-World Driving Behavior in Downtown Area and Applications to Automated Driving	ナイジェリ ア	6	600
NGO Nguyen Hoai ゴー グエン ホアイ 立命館大学大学院 理工学研究科 博士 2年	Development of Ultra- high-speed image sensors	ベトナム	6	600
Nguyen Linh Vu グエン リン ヴ 九州工業大学大学院 情報工学府 博士 2年	Transmission packet scheduling in linearly coupled multi-hop wireless sensor networks	ベトナム	12	1,200
Hana Pratiwi Kadarisman ハナ プラティウィ カダリスマン 金沢大学大学院 自然科学研究科 博士 1年	First-principles study of nitrogen-vacancy centers in diamond	インドネシ ア	12	1,200
Neha ネハ	Designing discussion forum for effective interactions between	インド	12	1,200

北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 博士 1年	learners and instructors in MOOC(Massive Open Online Course)			
Maulana, Hanhan マウラナ ハンハン 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 博士 2nd	Geographic Information Systems (GIS) to assist farmers in making decisions regarding commodity selection using interactive Augmented Reality	インドネシア	12	1,200
Ngo Nu Dieu Khue ゴヌ ジョ クエ 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 博士 1年	A Knowledge-Based Decision Support System for Innovation Management in Banking	ベトナム	12	1,200
Kouame Michel Robin クアメ ミシェル ロビン 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 博士 1年	Blockchain for Information Security	コートジボワール	12	600
Amrallah Amr Ahmed Hasan アマラーラ アムロ アハメド ハサン 東京工業大学大学院 工学院 電気電子系 電気電子コース 博士 2年	AI-based Radio Resource Management for 5G Networks	エジプト	12	1,200
Raoul Joseph Olinga Toh ラウル ジョセフ オリンガ トー 上智大学大学院 理工学研究科理工学専攻 修士 1年	Location of Hospitals Using Google Map API with Respect to Languages Spoken by Medical Specialist in Each Department.	カメルーン	6	600
Sekubwa Baker セクブア バイカー 上智大学大学院	Linking Environmental Impact Assessment and socio-economic	ウガンダ	12	1,200

地球環境学研究科地球環境学専攻 博士 1年	Development for Sustainable Cities: A Comparative Study of Kampala, Dar es Salaam and Lusaka			
Afrin Sadia アフリン サディア 北海道大学大学院 工学院環境循環システム専攻 修士 1年	Research on Stability of crude-oil emulsion for maximum oil recovery.	バングラデシュ	6	600
Nasrint Mst Samanta ナスリン エムエスティ サマンタ 大阪大学大学院 経済学研究科 博士 1年	Effect of individual characteristics on the adoption of VoIP to the diffusion of telecommunication	バングラデシュ	12	1,200
Wafa Tariq Waqa ワファ タリク ワカル 神戸大学大学院 経営学研究科 博士 1年	Does communication of social performance affect acquisition outcome of telecommunication and information technology firms?	パキスタン	12	1,200
Mouafor Boris Igwacho ムアフォル ボリス イグワチョ 京都大学大学院 農学研究科生物資源経済学専攻 博士 1年	Rice Contribution to Food Security in Cameroon: A Case of Rice Production in the Western Highlands	カメルーン	12	1,200
Kaushik, Kabya カウシク カビヤ 京都大学大学院 経営管理教育部 修士 1st	Modelling a Smart Internet of Energy (IoE) Network for cross-culture compatibility	インド	12	1,200
合計		18件		18,000

著書出版助成

著者	著書名	出版時期	助成額 (千円)
小宮山 功一朗 こみやま こういちろう 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター 国際部 部長	サイバーセキュリティとサイバースタビリティ	2022年7月	2,000
伊藤 嘉浩 いたう よしひろ 長岡技術科学大学 情報経営システム科 工学専攻 教授	ビジネスモデル創造企業	2022年7月	2,000
合計		2件	4,000

KDDI Foundation Award

受賞者	業績	副賞 (千円)
川原 圭博 かわはら よしひろ 東京大学 大学院工学系研究科 教授	IoT センサの製造及び給電技術に関する研究	2,000
伊神 満 いがみ みつる イェール大学 経済学部 准教授	ICT 技術革新・経営戦略・公共政策の経済学的解明	2,000
合計	2 件	4,000

KDDI Foundation Award 奨励賞

受賞者	業績	副賞 (千円)
齊藤 邦史 さいとう くにふみ 慶應義塾大学 総合政策学部 准教授	情報プライバシーの法的保護に関する研究	500
太田 香 おおた かおる 室蘭工業大学 大学院工学研究科 准教授	Society5.0 の実現を加速する IoT 基盤技術の研究開発	500
合計	2 件	1,000

海外研修業務の実施状況

契約先	コース名	参加国／人数	期間
APT (APT 計画 EBC-J)	ルーラル地域でのラジオ放送を活用した PPDR セミナー	8 カ国 22 名	2020 年 1 月 12 日 ～1 月 19 日
	サイバー セキュリティー技術	7 カ国 14 名	2021 年 2 月 3 日 ～2 月 18 日

開発途上国におけるプロジェクトの実施状況 (その 1)

実施国	概 要	
モン ゴ ル	件名	広大な過疎地域での生活向上のため、モンゴルの極寒地と砂漠地帯での低廉な光ファイバーアクセス網パイロット導入およびその耐久試験 (APT プロジェクト)
	実施期間	2018 年 12 月～2021 年 7 月
	メンバー	テレコムモンゴリア、モンゴル主管庁(通信情報技術庁)、地方政府 (3 地区)、株式会社 OCC、KDDI 財団
	実施概要	広大な領土と過酷な自然の中での極寒地や砂漠などの過疎地域での生活向上に必須な広帯域アクセス網を廉価に構築する光ファイバー網を実証導入し、極寒地での耐久試験も実施した。また、追加プロジェクトとして、敷設区間拡張用の光ファイバーの調達を実施した。新型コロナウイルス感染の終息を待って完成式典を実施する予定。
ネ パ ー ル	件名	スマートネットワーク技術を活用した地方行政特化サービスの展開強化 (APT プロジェクト)
	実施期間	2020 年 1 月～2021 年 9 月
	メンバー	ICT4D(現地 NGO)、ネパール主管庁 (情報通信技術省、ネパール通信局)、ダル地方自治体、NICT(情報通信研究機構)、Global Plan Inc.、株式会社 OCC、KDDI 財団
	実施概要	前 APT プロジェクトにて構築したダル地方の地域ネットワークの拡張と網の高信頼化、および災害情報の公報、遠隔健診の拡充及び行政アプリの拡大を進めている。また、追加プロジェクトとして、X 線撮影装置や健診キット等の調達を実施した。
ベ ト ナ ム	件名	洪水後の道路状況把握のため、GPS やデジタルマップ等の画像処理技術を活用した UAV システムの研究 (APT プロジェクト)
	実施期間	2020 年 1 月～2021 年 5 月

メンバー	PTIT(郵政電信工芸学院)、ベトナム情報通信省、地方政府(カンナム州)、早稲田大学、KDDI 財団
実施概要	多発する鉄砲水などの災害後の道路状況把握のため、UAV を活用してデータを収集し、解析することにより、正確な情報を取得する研究開発に着手した。また、追加プロジェクトとして、UAV 用機能追加パーツや開発用キットの調達を実施した。

開発途上国におけるプロジェクトの実施状況 (その2)

実施国	概要	
ベトナム	件名	COVID19 の症状チェックやオンライン調査のためのチャットボットを活用した E サービス・プラットフォームの研究 (APT プロジェクト)
	実施期間	2021 年 1 月～2022 年 5 月
	メンバー	NIICS(情報通信国家戦略機構)、ベトナム主管庁(情報通信省)、KDDI 財団
	実施概要	WEB ベースのチャットボットプラットフォームにて、COVID19 症状チェックやオンライン調査を実現するアプリケーションの試作に着手した。
モンゴル	件名	モンゴルのルーラルエリアにおいて、防災行政情報(PPDR)を FM 放送の EWBS 信号にて広報する実証調査・研究 (APT プロジェクト)
	実施期間	2021 年 1 月～2022 年 5 月
	メンバー	モンゴル主管庁(通信情報技術庁)、国家非常事態庁、モンゴル国営放送、一般財団法人 JTEC、KDDI 財団
	実施概要	FM ラジオ放送や EWBS の運用について日本の技術を紹介し、モンゴル国内のガイドラインやフローを確立した上で、具体的にルーラルにおける放送設備のモデル局を構築する調査研究に着手した。

資料 12

開発途上国における教育文化支援実施状況

プログラム	概要
カンボジア教育支援 (KDDI スクール関連)	<ul style="list-style-type: none"> – 学校建設(1 月) … Tumnop 109 – パソコン/英語教室開始… Phnom Dei、Tumnop 109 – 全校ヒヤリングに基づき、以下を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・水回り環境の整備 (井戸、貯水槽、給水所、浄化設備等) ・PC/図書追加 – マスク、消毒液、体温計等衛生用品の配布

カンボジア文化支援	Ty Chean 一座(伝統芸能スバエクトム影絵芝居一座)への影絵人形制作支援や練習場兼劇場の環境整備等を実施した。
ミャンマー教育支援	ミャンマーにおいては、NGO 法人 NEW ZERO のビレッジスクール(ペイネーコン村)の支援を行い、新型コロナウイルスの影響により、開校が可能となった夏の一時期には、ビレッジスクールで、少人数の美術やパソコンの授業を実施した。
ネパール教育支援	学習コンテンツを保存したタブレット、理解度確認のための冊子形式のワークブックおよび教科書を併用して、自宅でも学習を継続する計画を策定し、3月より、ラリトプール市6校/タブレット 200台にて利用開始した。視聴覚障害のある児童生徒が利用できるeラーニング教材を制作し、特別学校3校へパソコン35台を導入する活動について、関係機関と合意した(ユニセフからの資金援助も行われる予定)。

MCPC モバイルシステム/IoT システム技術検定試験対策講習会の実施状況

種別		コース名	参加人数 (延べ数)	実施日
秋 期	一般	モバイルシステム技術検定 1 級 試験対策講習会	34 科目・名	2020 年 10 月 3 日 (土) 10 月 4 日 (日) 10 月 11 日 (日)
		モバイルシステム技術検定 2 級 試験対策講習会	59 名	2020 年 10 月 17 日 (土) 10 月 18 日 (日)
		IoT システム技術検定試験 (基礎) 対策講習会	13 名	2020 年 11 月 8 日 (日)
		IoT システム技術検定 (中級) 試験対策講習会	24 名	2020 年 10 月 31 日 (土) 11 月 1 日 (日)
	個別	モバイルシステム技術検定 2 級 試験対策講習会	各回 約 40 名	2020 年 8 月 31 日 (月) 9 月 4 日 (金) 9 月 7 日 (月) 9 月 9 日 (水)
		IoT システム技術検定試験 (基礎) 対策講習会 (4.5 時 間)	106 名	2020 年 10 月 26 日 (月) 10 月 28 日 (水)
		IoT システム技術検定試験 (中級) 対策講習会 (4.5 時 間)	19 名	2020 年 11 月 4 日 (水)

国内コンサルティング業務の実施状況

a. 「IPSTAR 衛星の日本における電波免許取得」に関する技術支援業務 (契約更新)	IPSTAR JAPAN 社から受注した「IPSTAR 衛星の日本における電波免許取得」に関する技術支援業務を実施した。本件は、契約更新により次年度へ継続される。
---	---